

防災拠点再生可能エネルギー等導入推進基金事業の進捗について

1 事業の趣旨

国は東日本大震災に伴う原子力発電施設の事故を契機とした電力需給のひっ迫を背景に、自立・分散型エネルギーの導入による災害に強く環境負荷の小さい地域づくりを推進・支援することを目的に「再生可能エネルギー等導入推進基金事業」を平成 23 年より実施した。本基金事業は、国が都道府県・政令市に補助金を交付し、実施するものである。

千葉市は平成 26 年度に交付された当該補助金 7 億円を活用し、避難所である公共施設等に再生可能エネルギー等設備を導入することにより避難所の強化を図り、もって災害時における基盤の強化を進める「防災拠点再生可能エネルギー等導入推進基金事業」を実施することとした。基盤の強化にあたっては、「温暖化対策」と「防災・減災」を並行して進めることとし、具体的には、「地域に存在する再生可能エネルギーを活用」し、「避難所運営委員会」と連携することで、インフラの遮断時であっても自立が可能なシステムの構築を行うとともに、災害時でも当該システムを防災拠点で確実に機能させる「住民主体の仕組み」を構築していく。なお、本事業は平成 26～28 年度までの 3 か年事業である。

2 再生可能エネルギー等導入推進基金事業専門委員会での調査状況

(1) 平成 26 年度第 1 回専門委員会

ア 開催日 平成 26 年 9 月 22 日（月）

イ 検討概要

- ・設備導入施設を選定するための選定方法について検討し、「選定基準」として、「低炭素基準」、「災害対策基準」、「政策的基準」の 3 基準及び各選定基準に項目（各 7 項目）を示し、検討をした。

(2) 平成 26 年度第 2 回専門委員会

ア 開催日 平成 26 年 10 月 24 日（金）

イ 検討概要

- ・先行導入施設として 2 施設を決定した。
- ・第 1 回専門委員会で検討した「選定基準」を定め、27 年度導入施設候補 55 施設を対象に選定基準項目を記載した個票を作成し、次回専門委員会で選考することとした。

(3) 平成 26 年度第 3 回専門委員会

ア 開催日 平成 27 年 3 月 18 日（水）

イ 検討概要

- ・27 年度導入施設の検討を実施し、15 施設（先行導入 2 施設を除く。）を決定した（参考 1，2 参照）。

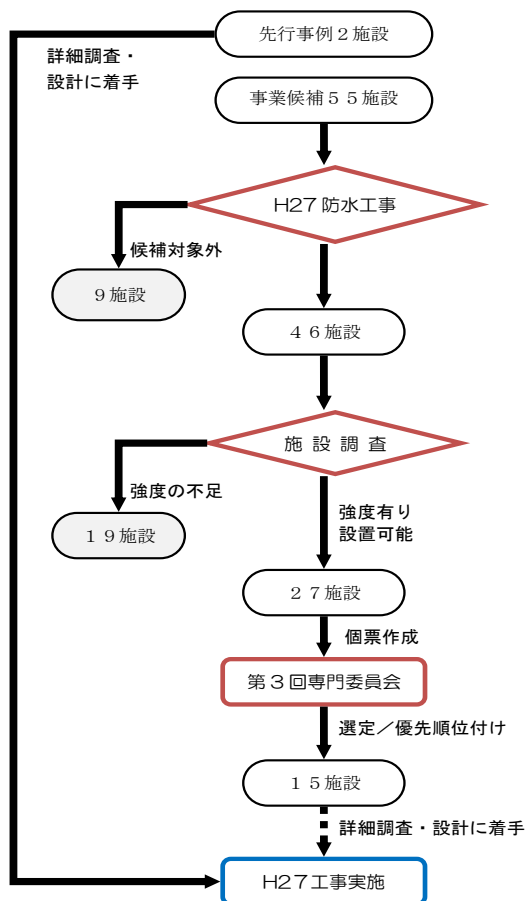
(4) 平成 27 年度第 1 回専門委員会

ア 開催日 平成 27 年 6 月 26 日（金）

イ 検討概要

- ・平成 28 年度の導入対象の絞り込み方法について検討した。
- ・住民（避難所運営委員会）に対する説明や設備活用に向けた検討方法び訓練の進め方について協議した。

【参考１】導入施設選定にかかるフロー概要



- ・具体的に事業検討を進めるため、２施設を先行事例として選定
- ・先行事例を受けて更なる施設を選定
- ・平成２７年度に防水工事の予定があった校舎屋上については、実施されるか不明との判断から候補外とした。

資料調査

【検討条件（設備荷重）】

鉄筋コンクリート（RC）※：60kg/m²

鉄骨：30kg/m²

※RCは校舎屋上のため、設備と人等を考慮し、鉄骨の倍の重量とした。

【確認事項】

- ・検討条件の荷重を載せたと仮定し、以下の項目を確認
 - 耐地震強度：Is 値、Qu 値
 - パネル荷重強度：C、M₀、Q₀

現地調査

【確認事項】

- ・太陽光パネル、蓄電池設置場所候補の選定と状態（防水・手摺・広さ等）の確認
- ・太陽光パネル・蓄電池・電気室・体育館設等の位置関係（距離・障害物等）の確認

【参考２】27年度導入施設一覧

◎先行設備導入候補選定結果

No	区	施設名称
1	中	千葉市立登戸小学校
2	稲	千葉市立あやめ台小学校

◎次発設備導入候補選定結果

No	区	施設名称
1	中央	千葉市立生浜東小学校
2		千葉市立椿森中学校
3	花見川	千葉市立柏井小学校
4		千葉市立朝日ヶ丘中学校
5		千葉市立幕張本郷中学校
6	稲毛	千葉市立稲丘小学校
7		千葉市立柏台小学校
8	若葉	千葉市立みつわ台南小学校
9		千葉市立加曽利中学校
10		千葉市立山王中学校
11	緑	千葉市立小谷小学校
12		千葉市立土気中学校
13		千葉市立大椎中学校
14	美浜	千葉市立磯辺第三小学校
15		千葉市立磯辺小学校